



かみせや

令和6年1月30日



横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

2月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

体験の充実と言葉の豊かさ

副校長 柴田 耕治

先日、海軍道路を歩いていて2人の若者が道ばたの花に水をあげているところに出会いました。県立瀬谷西高校の卒業生のMさんとHさんでした。話を聞くと、2人は割り当てられた当番として花壇の花の水やりをしに来たのではないことが分かりました。

「まちの方も、普段（水やりや雑草取りを）やってくれているようなので、（自分たちも）やらないわけにはいかないなと思ひまして。」

県立瀬谷西高校が2021年秋から始めた「フラワーロードプロジェクト」。これまで上瀬谷小学校もボランティアの募集を行い、活動に参加してきました。今年度、上瀬谷小では、正式な通知が来る前段階の情報で6年生の有志が立ち上がり、自分たちでチラシを作り、分担して各教室で呼びかけを行い、ボランティアを募りました。

当日集まったのは1年生から6年生まで、大人を加えれば40名を超えました。

集合して集合場所の瀬谷西高校まで、おしゃべりしながら歩く子どもたちの様子は、まるで遠足。何か楽しいことが待っている。そういうわくわく感に包まれていました。

集合場所には既に300人近くの若者（瀬谷西高校の卒業生や瀬谷高校の現役生）、地域の方々、地元のプロスポーツ選手などが集まっていました。さらに、横浜FCのマスコットの「フリ丸」も来ており、明るく和やかな雰囲気づくりに一役買っていました。

「上瀬谷小の『フラワーラビット』も、あんなふうに着ぐるみにできたらいいのにな。」

子どもの中から、そんな声も聞かれました。子どもたちが本気で望めば、その夢もきつと実現するだろうなと思ひました。（…これはちょっと脱線しましたね。）

プロジェクトが終わって数日後、準備から頑張ってきた6年生に「あんなに毎日会っていたのに、終わってしまうと何だか寂しいね。」と話すと、「ま、おいおい振り返り（のための集まり）でもしますから。」と、まるで大人のような返事が返ってきました。

年が明けて、「振り返り」のために集まった6年生は口々に、

「海軍道路を通るたびに、自分たちが植えたんだなと思ひて嬉しい。」

「瀬谷の自慢を自分たちで増やしていった。自分たちが行動したことが残せてよかった。」

「花があるのとないのとでは印象がちがう。園芸博覧会までこうなるといいなと思う。」

など、一人一人が思いを語りました。どの言葉も、実感のこもった言葉でした。

自分でしっかりと課題をとらえ、解決に向けて努力した人の振り返りの言葉は、実に具体的で個々それぞれで、豊かさを感じさせます。本人の「やってみよう」という興味・関心は何より大事でしょうが、小学校の段階では、私たち大人がいかにその機会、様々な可能性に子どもを出合わせられるか、そして問題解決の過程でめあてをもち続け、試行錯誤し挑戦できるようにするためにどのように支援していけるかが重要だと感じています。

今年度、上瀬谷小学校では、どの学年でも自分たちなりの問題解決に楽しく取り組みました。2月20日（火）の学校懇話会では、「わたしたちの頑張ったことを聞いてください。」という思いをもった代表児童に集ってもらい、地域の方への報告を兼ねた交流をしたいと考えています。保護者の皆様には、同日の授業参観・学校説明会の折に、何らかの形でその様子をご紹介できるようにしたいと考えています。